

予算特別委員会発言通告書

予算特別委員会において、次のとおり発言したいので通告します。

平成 29年 3月 9日

予算特別委員長 様

予算特別委員 吉田 康弘 ⑩

No. _____

予算書 ページ	発言要旨	答弁者
P 8 4	項目 急傾斜地崩壊対策事業	
	要旨 ----- ここ数年使われていないことについての原因を問う ----- 土砂災害警戒区域内であれば、積極的に利用するよう地元 ----- 呼びかける取り組みが必要 ----- ----- ----- ----- -----	
P 8 7	項目 空き家対策計画策定業務	
	要旨 ----- 「空き家の実態調査」は誰がするのか ----- 空き家の利活用に対し、所有者の意向調査と利活用判定 ----- を行ない、危険空き家の判定だけ終わらないこと。 ----- ----- 「小矢部市空き家対策計画」は誰が作成するのか ----- 空き家情報をどのように生かすのかを問う ----- ----- ----- ----- -----	

予算書 ページ	発 言 要 旨	答 弁 者
P 5 4	<p>項 目 ①総合事業 ②包括的支援事業</p> <p>要 旨</p> <p>① 総合事業 訪問型サービス事業・ミニデイ事業について 具体的な事業内容を説明せよ</p> <p>② 包括的支援事業 在宅医療・介護関連推進事業 認知症初期集中支援推進事業 認知症市域支援推進員配置事業 地域見守り体制整備事業 生活支援コーディネーター配置 具体的な事業内容を説明せよ</p>	
P 3 7	<p>項 目 市営バス事業</p> <p>要 旨</p> <p>変則デマンド式乗合タクシーは使いやすいのか どのようなサービスになるのか 従来のバス停が集落から遠い場合、バス停を移動して 自由乗降バスになることを望んでいる</p>	
P 4 0	<p>項 目 公共施設再編方針策定費</p> <p>要 旨</p> <p>① 平成18年からこれまでの間に、市が取得した土地の 面積とその取得費を問う</p> <p>② 平成18年からこれまでの間に、市が売却した土地の 面積とその売却額を問う *市有財産活用基本方針が必要である</p> <p>③ 地方創生は人口減少との戦いだが、公共施設は老朽化と 維持管理費、そして安全性、余剰対策、財政状況 人口構成による利用の変化、住民意識の変化、これらを 総合的に判断すべきもの。策定委員・策定手順を問う</p> <p>④ 公共施設マネジメントを計画するのが先ではないか 一元的な施設管理が必要。施設管理台帳・資産台帳</p> <p>⑤ 現在および将来コストの把握、効率的な投資計画が必要</p>	

